

平成 30 年度 第 2 回「防災スペシャリスト養成」企画検討会

議事概要

1. 検討会の概要

日 時：平成 30 年 8 月 6 日（月）15：00～17：00

場 所：中央合同庁舎 8 号館 5 階 共用会議室 A

出席者：林座長、井ノ口委員、岩田委員、牛山委員、宇田川委員、国崎委員、黒田委員、
田村委員、中林委員、丸谷委員、渡邊委員
海堀政策統括官、小平審議官、安邊参事官、小林参事官補佐

2. 議事概要

(1) 研修のあり方検討

- 類似の研修をやっている自治体では標準方式があれば自ら企画しなくてよいのでやりやすいかもしれない。
- 都道府県に対して、国の補助が出るのであればやるのかどうかなどのヒアリングを実施したほうがよいのではないか。
- 有明の丘研修 10 コースを圧縮して 2 日間に詰め込むのは難しいのではないか。
- 講師の確保について、防災研修コーディネーターを派遣するより、内容によっては地域の气象台や整備局の本局などから派遣してもらう方法もある。
- 地域では専門家の確保が難しいので、講師を紹介して研修を行い、予算の都合上徐々に地域で行うやりかたもある。
- 都道府県にとっては地元で講師を確保することによって継続しやすくなるのではないか。
- 1つの都道府県において2、3年に1回は研修をやらないと担当者が変わってしまう。内閣府ではなく、他の都道府県が主催の場合は、参加しづらいのではないか。
- 自治体の都道府県で実施している新任向けの防災担当者研修を仕組みに組み込み、内閣府のサポートも受けながら実施するとうまくいくのではないか。
- 都道府県が地域研修(仮称)に対して、どういう反応を示すかを調べて、内閣府がどのようなサポートをできるのかを調査する必要があるのではないか。
- 地域によっては意識や能力に差があるため、バックアップ体制やフォローアップ体制を強化する必要があるのではないか。ブロック間での連携の促進や自発的な取り組みに対する補助を継続的に行ってはどうか。
- 被災した都道府県でモデルとして試してもらうのがよいのではないか。将来的には、

カリキュラムと講師の調整、e ラーニングの活用についての支援などを継続して内閣府が行って、地方、県が永続的に自立して研修を行えるようなシステムが確立できたらいいのではないか。

- 標準的な研修を行うためには、研修をできる職員を養成して、次の担当者が養成されるまでは継続して養成できるような仕組みを作って研修の質を確保する必要があるのではないか。
- 防災スペシャリスト養成研修が目指しているのは、指導要領の整備や標準テキストの完備であったり、教えるべき中身の標準化をしたりすることと、それをいろいろなところで任せていけるようなスキームを作っていくことである。

(2) eラーニング試行について

(デモ、教材及びテストの作成・提供の方法、ログの分析・提供の方法)

- スライドのどこがポイントなのかがわかりにくい。読み上げ文章やスライドの画面を工夫する必要があるのではないか。
- 読点等の位置に配慮し、読み上げを想定した文章にすればより理解しやすくなるのではないか。
- 画面から分かるような説明的、概括的なところは読み上げなくてもよいのではないか。本当に伝えたいところのみをきちんと読み上げて伝えるようにするとより良くなるのではないか。
- テキストの情報量が多すぎるため、文字が小さくなり読みづらくなっている。情報量を減らして1枚のスライドにまとめるか、拡大できるようにするか、2枚のスライドで表示するなどの工夫が必要ではないか。
- 解説の図表には的確に説明する文章が必要ではないか。

(3) 研修効果把握のための実態調査について

- 組織全体への影響についての設問は、まず組織全体への影響のプロセスを踏まえた設問をした上で訊いたほうがよいのではないか。
- どのコースを受講したことが災害対応や応援の時に役に立ったかを訊けるとよい。
- 受講経過後の期間によって「通常業務」の定義があいまいとなるため、アンケートの訊き方には配慮したほうがよい。
- 防災スペシャリスト養成研修に多く送り込んでいる組織がどう変化しているかをヒアリングで訊いてみてはどうか。
- 受講者と受講者の上長にヒアリングを行い、上長の評価が変化したかどうかをみてもよいのではないか。
- 通常業務での活用状況をしっかり回答した受講者にヒアリングするのが大事ではないか。

- 組織全体への影響については、個人には答えづらいため、受講者が組織から何らかの配慮をしてもらったかどうかを訊くのも良いのではないか。
- ヒアリングの際、業務内容と受講したコースとの対比が分かるように訊いてみてはどうか。
- アンケートの設問については本日の意見を踏まえ事務局で作成し、座長に確認を得るものとする。